源氏物語中後書

二

源氏物語首書中後書二

目録

明石
澪標
蓬
関屋
絵合

九曜文庫

松風
薄雲
槿
乙女

源氏物語首書中抜書二

昭石

一空のうら波

一うちつけ

一仁王會

一月ちゝて

一元服

西風とかゝるものと宮のうらなれと云面白風俗とふ
その風十日の両河とたゝ
ゆるゝ云のうら波四〜〜
道のゆちつけ 篁日記

仁王會ハ持統天皇御宇始渡
来本朝
面白風俗ゆちつけ給ふ
殿諸善人故天降臨
金光明經

一うゝゝ
一茶湯とふる
一名のゝたゝけ
一帝王は酒を茶
一姫うゝ酒つく
一ゝこさ酒ちう
一天地とり酒へ

幸吉の心也
野分老婆はゝゝこのと
云ふ名を吹うこうゝぬくゝわり
青幣白幣 日本記 又ゝの幣有り
長恨哥云 養在深窓人
未識云ゝ 詞ハ是とゝ行
大ゝ酒 愛常 ウウクヒヒ
模死ハ志酒ハ〳〵こゝ
天神頼文と仰七日七夜
仇ゝて祈念別頼文昇天云ゝ

一家ゝゝ
一かのゝゝわりて
一かゝいゝの
一空ハゝゝと
一業の戸ゝわゝて
一酒ふゝゝ神

雛家三四月落渡百千万雷家
た侍云公卿非王命不越境
雷大ゝ
大炊殿 彩精示記 伝云巨炊殿之
食のゝゝゝもゝ而ゝ伝云
晩来倚杖自歎息俄頃風
定雲黑色 杜詩
雛舎の業ゝ戸ゝ
任嘉神 筑紫号国橋の
小戸ゝ塩ゝゝゝゝゝ
ゝゝ神ゝゝ酒ふゝ神云

一さてさて人〻こころこそ
一こゝろはけすくしやう
一古院
一こゝろこそかけぶ
一是ハあく、さうちる
一いとあちくて
一大裏小奏ちつさ

因の字をかくてこそ
果〻ろつ
さくしやうけちう所
桐壺帝 後中小示給
後中小古院ヘ申給
為雲密通ちのすけ
地獄小ちりく給ひしも
源氏阿波のすけ

一海式入すさに
一天わを給つきハ
一さきのみちち
一ろくいまあ
一人の人ちと後と

長恨歌小方士ら楊貴妃を
りとめ〻所のすく上ハ碧落と
窮ち下黄泉とつくちて
後さあて天給ハ月ち
さくしくしくうつ
ちうるく

情慶前入道せ或日堂
関白出家後世皆入道殿ハ
御悔とうて世ち小入給
ちうち海仲と自毛新後
ちそのちいき
古事百〻終牛

一 あやしき風

一 さとし

一 ちらすさうの戒

一 郭公のもよほし

一 志りうさきて

頌曰

怪字の心 さとらしむる 云心之 奇瑞の事

辛苦のよゝし有し

是ハ悪き人のふるまひさ ふつゝさと云之 郭公ら辛の 場の文経ゐさ人時の種ひ うちのものすふハ行のさしわき 志てゝふ屋さし心之

孝經曰 不退有外進之 不忘

退取禍之道也 周易曰 知進

不知退 知存不知亡 不知得其

一 らし

一 まくらときうたをつき

一 こまい

一 い称のくら町

一 けふぬのたちふ

一 たいワさま

唯聖人乎 下略

領し也

むとさらなるしいかとし

異をさらさるふまゝきし心之

法華三昧也

いこくのわう所之治石入道

為きられさ由之

濱之館也

老忘之

一法華経
一元亨釋書
一孝経
一四書
一さうつる舞
一月と花つたゆ
一たこひさうて

入仏門人
家おもうて世を遁るの
海うのこと
船の大家とうハを
つ〻
日月花奢ハ
昨日入仏門世のもと遠く
ト〻

羚（ホコル）
髏（オコホツ）

先世のもやとも
た迷ふ月と花ゆの
つ〻
荘子 動ふ〻ふ〻ゆ
ひ〻

一さ〻〻元と
一〻〻〻〻〻〻
一ゆ〻〻ゆ〻〻
一〻〻〻〻〻〻

一仏養法

入道のむ〻〻〻〻
〻〻〻〻〻〻〻〻〻
辛字つ〻

異ひの歩〻〻〻〻〻
廣陵散琴の秘曲
盤庚〻元陽亨〻て
神人〻〻て作る曲
〻神人〻昔の伶倫の変
化之 晨神傳也

三密六度の行法

一後乃世尊極乃
一[illegible]の
一[illegible]
一琵琶の法師と
一[illegible]
一[illegible]

極乐の管絃歌舞の
菩薩の事也

郢曲也

怨者其吟悲の心
兼盛集云琵琶引あ
りく法師と
若も源氏の具く
よこ[illegible]
引[illegible]

一入道[illegible]
一[illegible]の[illegible]
一君[illegible]

一女五宮
一[illegible]の
一[illegible]人

[illegible]
[illegible]
源氏の[illegible]
[illegible]
[illegible]

嘆哦天皇[illegible]琴の
[illegible]

撥拍也
本是長安娼家女童少[illegible]
琵琶[illegible]模曹二[illegible]年長[illegible]
色衰テ委[illegible]為高人婦ト

一いうて人とはなから
一ちらしめ寄れば
一中の春

一さきあそし　殺

一いちるとしるこ
一ものうしは

一天つゝの蓮のと
一はい人とちらさ
一せしら袖かと

一ふとさ海の

白氏文集

はかりとたゝしゝ
あゝそよ尋ねうん
ちらしゝ
由の春ふたのゝ中琴の
絃とゆちるゝ
下ものわるゝ
詩わし　殺　作
人とゝ
ちるゝ酒とゝ
入道ひわりて娘の
ものつゝふ

入ゝ後世の彩とはさゝ
先むらものゝ
貴人小女と奉度
後拾遺後朱雀院生れ
給て一夜小公住
長の袖仕せ
ゝ集むゝ
ゝ
見ひ中
ゝ
せ
ゝ袖の
せ　藤三位
源氏物語の
流人の

一さてさて此世界の人の[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一なるほど
一役ぶしみ

一[illegible]
一上[illegible]
一[illegible]

一おい[illegible]

[illegible]
[illegible]
上[illegible]
[illegible]
周公解夢書曰周禮六夢
一曰正夢二曰思夢三曰思夢
四曰寤夢五曰喜夢六曰
懼夢 世内無風雨之夜無
憂喜醉之時分明為正夢
云〻
[illegible]

一ゆくすえ
一てをとたて
一あさる夜
一ねぶたち
一月いまだ

不意也
おもかの後はふ人と弟子
こふ
川竹　あさる夜の月とも
ことたし　こはふきまん人と
ふたもや　後おもさんるの
たしらし之
思共　百葉　思ふ　ふ　ふ　ふ
玉津島　合の波　月
川竹　松の　と　ひ
さ　ふ　秋の
心詞　分　家
感　きさ
たし

一こるまこと
一ふれくだぶ
一いとあさる
一むさあり
一ゆうもの
一ふうの
一かひとは

後年の思ひ　也
ちきき　ふ
ふ　人の
裏表　ふ
あさあの　可憐　百葉

發憤　腹立の
心衣櫃　あさ　ひも
拵衣　紙裳　旦事
嬰児　ふ
ふ　ひ
伝ふ　同

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

道

[illegible]
拾遺 [illegible]
配流の人石還後六載之後
出外[illegible]
の法[illegible]
寒庚吏曖柘樹後栄
後日記

一 [illegible]

田舎鼠

澪漂 又水尾[illegible]
十月寒風 日記

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

讃国

[illegible]

一いうかハ
一[illegible]
一かたちて
一[illegible]
一うく人[illegible]
一名[illegible]か
一[illegible]人のまね

五十日 [illegible]三月十二[illegible]
[illegible]

[illegible]

嚴重也 神寶

十列也
[illegible]

一雲[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一神の[illegible]
一[illegible]
一[illegible]

人の[illegible]

食意也
[illegible]

[illegible]の利生有[illegible]
七[illegible]の[illegible]後[illegible]の世[illegible]
毎月[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 ゑやうつかため

一 やまつり

一 うき身を泣く

一 わひしく

一 けたうさあかうきぞ
世かふ

一 おかしこゑて

一 めとしおもより

閑暇文集醞暗花伝屋媚　閑鹿せ

ひとつくさもえ
仮に云身を流して分のこ
さそしうもいふねすう詞え

潜愛 おひきすさし山根よあつ

潜らすやせ きよひせちうん山え

流しも時は花をとたうえ
目にあやしうきに云山え
花らめのうくしさえ

一 おくまりかお

一 よふめく

蓬生

一 とうかうき逢はく

一 うの花咲きひ

一 竹の花このせ

おく涼さしうえ

せうつつきこのうえ

絵の装束せうわのうえ

君の海のくうう月たまつ
かうくこつよ

花つつきうあわは

後選 今さうしにわおひうえ
竹の花うさ娘く
去はし世にふきつきや

一かりひらけぬる
一婚りて
一こそ酒の
一ひてこ
一ゑ人の
一ちゑ人
一むてハ酒の

源氏の末摘花

樹神 賀茂 粉神 木魅 白典 山彦 毛羽 毛羽 木灵

仰親度 古代又古祈

宗廟之器不鬻於市 礼記

辰巳風 人と

一あきちこ
一ぬる人うこ
一ゑこ婚ふ
一のこ尾婚
一はぬかいこ
一ちハはきこ

總角毛行憶泄總角時 詩東坡

鬻アケマキ 賣名之

賊貪家とこ

節等殺是ハあれて人ハ

秋の

貪家淨掃地之心也 東坡

詩あり

塵ちと麗ハ

任行 不祝神

一[illegible]
一[illegible]

一きくのの
一[illegible]
一[illegible]

雅利根也

[illegible]
刀自[illegible]
[illegible]

幹

紙屋紙陸奥紙相紙[illegible]
檀紙[illegible]
[illegible]
平安の中と流[illegible]
[illegible]
上[illegible]

一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]

真くに安也

[illegible]
[illegible]
巧言令色の[illegible]也

教原

百葉 [illegible]
[illegible]
百[illegible]
百葉 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 佛ならくとし

一 世のうきし時々

一 いきる浄土

一 佛菩薩

一 五のかこ里

一 おとりもち

一 ゆうりとなく

法華経曰如是人八難度
ここそ佛の方便をもちい
うこき無生有しと也
古今 世のうきめみえぬ山路へ
いらんと思ふ人こそほだしなりけり

生佛国 生佛土 衆生も浄土に従て
浄土ハ生人をハおきさしと
醍醐の禅師の句也

五濁也
劫濁 見濁 煩悩濁
衆生濁 命濁 下略

遠慮とちうしの事
西のちく

時謝字元歸 谷中竹下
宋三逕 文選曰三径就荒
松菊猶存 陶淵明詞也
三の道ハ門ゟ井へゆく道
厠へゆく道是ハ人々ちかひ
貧家にも有道也

一 三つの道

一 世々似ぬ母

一 まふしらちん

一 みなまとい

一 それえかくし

家業報とする事男ハとく
きぬくれのきぬとはいふのもこれ
こふふ之

男衣（ミナトコロモ） 男ハ訓いふ之

薫衣香 異香の一名と云り
又其の忽名と云く

一こゝの日
一ちりあくた
一すゝはき
一ゑのゝ稀乃美ホ
一とゝ物ゝの
一むゝすゝ成
一かゝの出ゝひつ

古今 [illegible]
塵 [illegible]

さゝ[illegible]
宰予晝寢 論語
新學庸古孫孤云 大尾
曳テ作長紀裳 孤ハ
男ヤ[illegible]ヤ 変化あこ
無德ヤ 面白ゝもゝ[illegible]
紹蒲香 幸櫃ヤ

一ひゝふたゝふ
一引ゝくゝ[illegible]
一ゑのゝ新ホ
一まゝりこまい
一むゝとまゝ[illegible]
一木草の葉と

引奇 [illegible]
[illegible]
引 [illegible]
古今 [illegible]

賀茂祭 齋院御ヤ

[illegible]
主人安樂花行ホ和琴て
人の和ゝ隨て[illegible]
[illegible]

一きとき、〜
一ちうこの内

下家司也
[illegible]

聖武天皇御朗弁西山
祈砂金所也
[illegible]

一石山寺
一あつまし山

関屋

一車さしうるたり
一車十りう
一りうくもあとの
一きふの関むこ
一大とうあて
一りうりう
一つりふの歌

牛とりて輦とかうる
りうりうかり

車十輌りう有こと

将襖 紗絽 深緑 襖ハ
紗ゆとりう深ゆとりう
宮と道通小宮の間と
りうりうとりう

大物也 おりてむこのつ

叙爵也
後選 [illegible]
年の内りん

一[illegible]
一[illegible]

繪合

一[illegible]たりの箱
一百歩の外
一[illegible]

遣恐

[illegible]

箱の蓋の上に[illegible]
[illegible]
[illegible]
一歩ハ六尺ニ百歩ハ六十丈[illegible]

時トハカリ日ヲ記[illegible]

一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]

一[illegible]

寵

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一くさ〳〵ゑんあり

一長恨歌

一こうひ

一須磨にて給のり

一ゆうがほの

一給ハ世のわかれ

秋てゝ

楊貴妃ハ馬嵬ゝゝゝゝ

王昭君ハ夷狄ゝゝゝゝ

たゝりの師わ〳〵〳〵

次度

次ハ此の見ゝ芸家室屏

風事と令記金絲〳〵〳〵

南世の給るきハゝゝゝゝ

〳〵〳〵〳〵同ゝゝ

巨勢相覽ハ金屋ゝゝ子ゝゝ

今ハ寛平時人為世子貫之

同河人

一給ハ法師のり

一左清大君

一さいゐ中將

一ちゝぶのり

一主上御前ゝゝ

右南ゝゝ志花ゝ邪常則

天暦比畫工也

大君ハ王氏の女也ゝ後拾遺

作者わとゝ小大君ゝてあり

左京業平朝臣者宮内卿

親王第五男之仍号在五中將之

〇〇〇〇

朱雀院寛平第今永承六年

内裏根合都芳門院京哉合

寛子皇后扇合上東門院

第合正子内親王絵合也

後拾遺集正子内親王絵合〳〵

仍まゝゝゝゝの草子ゝゝゝて

仍書り相打　尺ゝゝゝ

一うみ絵と
一りちき密
一年の中れ長命ゝ
一うんりち
一昔のうんさ
一きさいのうれ紙

波のきりみうきてけり外も
さあり玉川の宝
昔絵ゝうきさりと今の世ハ
紙に書と紙絵ゝ

隠密の所ものの
年中行事の絵せ
公望 絵師有名源宋
巨勢 今長孫 益忠
楊貴妃のうんさ
方士ざつせ為我謝天上天皇
ふて四ぬと尋ゝるのとれり
らせ作り
縹唐紙

一ゆきられく
一うんさを
一きこうきいて
一ゆんのたち
一ふちゆき
一むゝのだ

智恵わうとの中ゝ
ゝ思ハをうちの
人しさハをゝ
文ハを上龍能書ハ中
ゝ及其外管絃の
所を
たらくわゝる詞
圖書寮被納累代樂器
天德ノ例
ゝ能キ者又今ゝ
史記云 大名之下人不居
後漢書曰 位尊身危賊
多命殆

松風

一まきらう
一ちんてん
一あらうり
一ちとこ
一ろかけて
一はすまき

政所　家司　東院の事と
をこなふ諸役所也
礼記云　聘則為妻奔則為
妾聘以礼迎也奔以無媒也
野合之義也

宿守也
雑色也
みてくるまめ〳〵しき
はきものをこと〳〵しく

一女房ちやうひ
一たいちんのもとゝ
一衣ちんは茅巻

一えの女房
一紙絵ハ

毫盤所と云〻紙絵合の
紫宋ハ天徳四年三月廿日
内裏にて合と摸して云り
宋ハ机のもと〻厳よの舞〻
宋物ハ地敷也
天徳年合右方例涙流机
浅香下机浅縹浮織物地
敷
上の女房とハ典侍掌侍也
紙とはさてうきれ絵の
中とれ〳〵山えのこゝろを
えをつくるなり

一たなびき
一ひらけ
一、のちの幸を
一おさい乃
一ゝゝきわ
一筆ゝ乃

勸

論語云有顔回者好學不遷怒不貳過不幸短命死矣下略
文武ハ弓ハ射ハ御者ハ詩書禮樂ハ何れもなるべし
よく之を考ふるの間
拓殖云 圍碁出於智慧
碁ハ東坡と三昧の一ゝ

一たちぬ
一きん
一ゝゝ
一ゝゝ
一ゝ乃ゝ

券 支證の事

ゝゝゝゝ
ゝゝゝの
者ゝゝ
乃ゝ
ゝゝ
ゝゝ
ゝゝ
ゝゝ
ゝゝ

一[illegible]
一[illegible]

一[illegible]

[illegible]
[illegible]
夜光楚王臣隨侯蛇の
病と愈[illegible]
七寸玉と合て夜来て息ヲ
報せり隨侯此玉を元て
楚王献せて夜中ニ常ニ
光わり故ニ夜光玉云く
史記曰尚有任子珠照
車前後各十二乗
[illegible]
[illegible]

一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]

一[illegible]

多の年之
[illegible]
[illegible]
世の中[illegible]
張騫ヲ漢武帝の使ニ
[illegible]
天漢の源と究ニ孟津ニ
至て牛女ニ逢て帰
事[illegible]
伊勢道宮参ハ道[illegible]
十月ニ山口ニ有て色ヒ仙人の姫ニ
[illegible]

一ちきりをうつ

一二葉の松

一月毎の

一星をしや

一八重たつ山

一松としつの

山入のうつあと云

禅　男女貴賤貴人妻

引手千世屋へ祝ひ

[illegible]

宿ハワ[illegible]

十四日普賢　十五日阿弥陀

晦日　釈迦　念仏常行三昧

引手星をしや　ふ世よさう

かくのごハ志をうとうたハ

ふしうつ酒うん

後選　[illegible]

世とあつ祝う　去の八重

たつ山ふかわ

たう新とうし　去人　世言祝の

松しをの友をうつふ

一八重をうつ

一山のかつた

一松ちさいをて

一小をう志うつ

一ちんをうをて

辛字之　うつ酒之

古今　去のて寿ハ

[illegible]

[illegible]

食毒のうつ　阪の名所

還殿　カリアルニ

小をう身枝のうつ　枝九を枝の

下とうをて山愛ちハ

[illegible]

[illegible]

山ぶけと云

順流也　新山盃をうつ

一 月のをむ斧

一 中ふたひあめの

一 ゝのわかる鶴

一 きのくえと

かつらのかげ 天安論云
桂花月之月中仙人桂樹
其初出仏之見衛成形後
桂樹生 兼名苑云 月
中有河云水上有桂樹高
五百丈
引寄今その中に生るゝ
星すきはえとのえる也
色しかり 伝ゆ
たれしく流露にてわくらく
ろうふえて月のちつきひハ
下りかと
王室の古筆之 たさつまは
ゑそくしわるそちめえの
ふりしきそうさこひかりきを

次生蛭児雖已三歳而脚猶
不立 日本紀
さすの腰にハたまゝるゝやう
それしくうすとも孫わるゝめてゝ
後還 云ふるとさつてもふ
わる孫をも君ゝわれあひ年ふ
すこしまて

一 きのゝ子

一 年れぬけり

一 流くさ所

落雲

後還かるゝるかさつは女に
ゑるむきうりまち男にゝえハ
ゑるむき云かれハ宮しと有に
えよるゝぬとゝひまれハ所を
にてゆまりふ反ゝきりきを達ハ

一ツ系ひてう
一そうの海云

一

一きりとうしん
一そうことの参
一ひとうあまり
一人たひ

廿 宿ヲ[illegible]
[illegible]
拾遺 [illegible]
[illegible]
廿人袴ヲ大臣三歳の時
但ヲ系ハ上ノ句倫ハ
[illegible]院ハ九歳ニテ袴ヲ云
さわるかふ云詞
嬰児のわらべ
[illegible]
[illegible]

一ことのあひ
一あまそう
一あこそう
一ものあまる
一くくく
一そう大
一うくきに

[illegible]
[illegible]
さそう[illegible]
[illegible]
[illegible]
聖武天皇神亀二年 日記
桂子従唐国来殖種諸
本草云桂子無毒云
如烟盡燈滅 法華経
豪家有千人 謂豪家

一ちしりハ
一ひきこの
一こたいふ
一天のまこと
一ちんこん

史記註楊冠子曰德百人者謂之俊德千人者謂之豪德百人者謂之英
古今注曰西王母の桃
[illegible]
峯の桃 心の色也 [illegible]

天眼 五眼の一也帝釈梵天等也照覽

秘密真言の事

一天角ん
一まりはとも
一とうとうふは

一やまとことに

天變
天下の怪異必政の善惡
[illegible] 聖賢
代々と有事
崇神皇ハ莊襄王の子
[illegible]
皇の母太后淫毒昌不
章さ云臣下密通して
耶生云く
拾遺 [illegible]
[illegible]
秋[illegible]

一[illegible]

一わすれこ

一[illegible]

一ひとり[illegible]

一柳うゑ[illegible]

自古逢秋悲寂寞我言
秋日勝春朝　大[illegible]の
秋ふつとらせ[illegible]
附ハつまこ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

言語道断[illegible]云
後拾遺　梅[illegible]

一あまこうこあこ

梅のもく白[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一こちくく

一[illegible]

榿

[illegible]

神用神宿用雅　日光
[illegible]

一いうてかとうと
一志ろの風

一まうり
一塩屋ち長
一ちりもしゆくこそ

人はてちてすえ
くくのの
科戸風の大の八重雲と
吹拂ふとのたくくと云く
乾のの方に吹う者

辞見 昌黎 海戸

一ちちちち
一志ちもしさ
一よとさうめて
一あちひ
一いひさ

世ぶくちゆうちちちと
さもさ祇
門のろひのさしたぶうと
行女馬蹄生易蹶用稀
仰鎖渋難用 白氏文集

蓬門 蓬衡 文選
衡門 蓬戸 柴門 号陶潛
菖蒲為栽盧編蓬為
戸 白氏文集

欠伸
吸鼻 紅文

一花やさし

一きさらぎ

一ちるさくら

一ひとつわらに

一わりなき恋路の

一いさらい川

引奇 きるてらやうこ恋出
しいかうて物もいあひ人
会おあやす
老者の歯わらて口のゆく
しらく
あひとしろひくうまの
保昭尺 分ちこしひて
うしに今八文人のうへ
うのきくこ庚こ
清女納言花草子冷あ老媼
きこ師遍月夜云く
古今 ゆくこのこのひうる
いさい川いさこへて
あおかるこ

一春ちかしく

一さくらしく咲きて

一冬の雪

一冷しさ

引奇 ありやこ冬こ
あひ祝ひたうまかくき
きてこひしく
拾遺 去秋こ思ひこれて
つさうひ所ひけ
うけうは
ひこさこてあれて
冬の月去のくれ
かこくさうきも
嘉隆 ひうふ
こ
上旬月八こ

清女納言花草子云く十月
冷あ 十月々夜 十月扇
十月蓼水 老女假粧

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

女醉　胡仙老々仙法師醉事
毛酒神示　勅使彼女囚
競馬　昆崙八仙　畫事
遺愛寺鐘歌　枕聽香
爐峯撥簾看　白示天
雪園

畫乳也
世々扇ことゝもの八新を
うゝさ[illegible]れ八扇ゝに
わゝて[illegible]ゝけたゝ
力とゝもゝ[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一世[illegible]

一[illegible]

世々ゆゝゝ八香心八首ゝ
[illegible]ゝ[illegible]ゝ
紅山院後源殿の[illegible]
[illegible]
作文有事八若紀[illegible]
者世々ふゝ
大世[illegible]
驕ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一この世をすてゝ

一ちゝ人をすくはせ給ハ

一わらゝ佛と

乙女

一まゐりのちハ

ちゝ母よ、高野へ入給ふ

法華經曰 五濁惡世劫濁
煩惱濁 衆生濁見濁
命濁 伊行尺

彼國をゝ

一心不乱 阿弥陀經

ちゝ母ハ高野へ入給ふ

一ゝ母ゝこの日

賀茂社御日也 家の
三日前

一きちゝ

更ゝ昔ゝ之歸

一わらゝ

俗ニ云 寿主〻之

一大学の道ゝ

尚書大傳云 古之帝王必立
大学 下略

一文ゝ

文道也

一ちゝ母ゝ

俗ニ月ゝ之鼻ゝ云ふ

一やまゝ母ゝ

和国魂 和ゝ魂能

一せきりんの
一わさ花はるの

一たくしぬ屋
一むでくしる
一屋い

窮途　急　日本記　窮者回薄
禮記曰己冠而字之成人之
道也下略　学生ノ入学ノ時
文章院ノ堂監ノ書ケル名
名簿ニ名ヲトウ
聖廟ノ字ハ菅三三善
清行ノ字ハ三擢ト云リ
臆
きおく
孔子ヲ酌ムトキハ俄ニ
孔子ニ近ハ近代ノ

一かりがく
一ちりこる

一きち元今のかけ
一さろ山
一窓のかくる

移人ヲ移ス者ノ
風俗ノ奇ノ親
西宮記曰　有政日事并就
結政如常上卿入外記戸
官掌唱鳴高
揭要大散　くもの
きくこの
管絃樂
車胤孫康ハ家貧ニシテ
油ヲ買フ金ニ雪ヲ
学問ヲ

一はこ
一きくのえさうし
一えびきれて
一ゆまきつく
一竜の糸
一大つく

集日記

論語曰　言可覆　註曰
覆猶復
言ハ癡ウるこはゆく
約ハいろさハめといふ
言ヲかゑるくて賢をたゝ
ゆく當時ハ不相応之
賓試の時ハ長幼を以て序ト
ゐて人の種姓ハいふ
藤氏ハ勧学院源氏ハ
淳和院平氏ハ昇学院
橘氏ハ学館院ト云ふ

一ちんかさう
一ひるこまもの
一秋の上風

一后ゐ
一たひきゐ
一風のちゐ

進士及第之

十歳ニシテ昇進
不文也
二年秋ハ雨ニ
ちゐ秋ハ雨ニ
萩の上ゐ
后ゐ成給ふ
也信ニ年ゐ
ひたゝいゐ
年のゐとおいゐ
文選豪士賦序　落葉侯微
風以隕風之力蓋寡孟嘗遺

一秋風樂
一笛の秋
一とまくらのうら
一ふるとも
一さゝめごと
一ちりうら

雍門而泣琴之感以来
盤渉調也　さうか　唱哥
仍子期心舊賦序曰隣人有吹
笛者發声嘹喨追想曩昔
遊宴之好　文選
ちゝふかゝるの　逸名
明君知臣明父知子　史記
擇子莫如父擇臣莫如君　傳
知臣莫如君知子莫如父　昰記
私語　咫言
後言　見當書うつと

一あまのくい
一さゝまるま

一むつ物うつり
一せひちゝ
一うせの音の仆ふ
一雲井のうり

尼額
緣什うゝハ別家むすひて
あうゝうゝてよまれ祝類ハ
ゝとうのさるのゝ
むつかゝゝあ
是非不知　一本　老ゝ
風生竹夜窓間卧　月照松
樹時臺上行　朗詠
万葉　青柳うゝ雲井の
一ゝとゝ
あのうゝ

一分かと思ふ

一あたち

一さうこと

一せいこうむ

六帖吹うを見て分かと思ふ
きの秋風と云うを物と
思ふなり

一指しおくこと教訓なる
句

鵬の字を角て考ふ雖
おのむとそうきとうとこの
雖平てうあ

礼記内則篇童子の父母に
仕ふる則附分異なるの
也

剣諫

一うを形りふ

一かをうをけを

一さを色

一角りて肌

一ろうこの

一まこう

一きんちく

きこのとうのうを
あうきまあ

自分のうを

人の行迹肝要也

拾遺 乙女子袖振り山乃
ふもとこの人しこ世うり
なりひとをそ

汝也

汝等也

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

拾遺人丸 [illegible]

[illegible]

臆病[illegible]

[illegible]

唐[illegible]

[illegible]

安名尊 催馬乗呂

御給年官年爵

一むつ[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一馬[illegible]

發憤 暖[illegible]

[illegible]賀[illegible]年の満[illegible]

[illegible]賀[illegible]故[illegible]五十の賀[illegible]

五十寺[illegible]藥師延壽

命経[illegible]供養[illegible]事有[illegible]

[illegible]便宜[illegible]

苦瞻[illegible]

[illegible]殿[illegible]競馬

[illegible]

一凡まや
一上あらと
一ゑうんのしら
一わそくのこまをそ
一屋ゝをとらし
一角たゑや

四厩せ
冬上の上馬せ
彼岸ハ時正ゝつゝて吉日ゝ
宛ゝ細分
塀廊
立田姫ハ秋とゝ